

3-5 まとめ

前回計画における実現方策の分析評価の結果を表 3-4 に示します。

事業評価が「×」(計画通りに行えなかった)であった方策は 2.(6)緊急用貯水槽の設置のみでしたが、貯留飲料水量は現状十分な量を確保しているため、断水を伴う災害時には、配水場から各給水拠点へ車載用給水タンク等を用いて給水を行うことで対応する予定です。

水道事業を取り巻く環境の変化により、計画通りに行ったものの課題が残されている実現方策が多数ある状態です。そのため、次章の第 4 章にて将来の水道事業環境の見通しを整理し、前回計画の分析評価の結果を踏まえて、現在から将来にかけての鳩山町水道事業における課題を改めて整理します。

表 3-4 前回計画における実現方策の評価・課題・方針

番号	実現方策	評価	課題	方針	
1.(1)	(1)池田浄水場の改修	○	なし	変更し継続	災害対策として一定の自己水量を確保する
1.(2)	(2)受水槽の指導の徹底	○	なし	継続	今後も指導を継続する
2.(1)	(1)水需要の見込み	水需要予測のみであったため、評価分析は行わなかった			
2.(2)	(2)企業の立地による 需要水量の増加	○	なし	継続	今後も企業誘致があれば対応を予定している
2.(3)	(3)水源水量の把握	○	なし	変更し継続	安定給水のため、水位等を継続的に監視する
2.(4)	(4)耐震性の把握	○	あり	変更し継続	送水管の耐震性を確認・確保する
2.(5)	(5)バックアップ機能の充実	○	あり	変更し継続	バックアップ機能の維持
2.(6)	(6)緊急用貯水槽の設置	×	なし	変更し継続	貯留飲料水量の維持
2.(7)	(7)応急給水・ 応急復旧資材の備蓄	△	あり	変更し継続	資機材の劣化状況を確認し、 必要に応じて購入を検討する
2.(8)	(8)老朽管の更新	△	あり	強化	管路更新計画の見直しを検討する
2.(9)	(9)配水管の整備	○	なし	継続	管路更新事業に合わせて実施する
2.(10)	(10)電気機械設備の更新	△	あり	強化	機器管理台帳を整備する
2.(11)	(11)危機管理マニュアル の整備	○	なし	変更し継続	危機管理マニュアルに基づく訓練の実施と マニュアルの運用等を継続する
3.(1)	(1)利益の確保	○	あり	強化	経営戦略を策定する・広域化の検討を進める
3.(2)	(2)中期経営計画の策定	○	あり	強化	料金改定も含めた財政見通しの検討をする
3.(3)	(3)運転管理	○	なし	強化	委託業者との連携のノウハウを蓄積する
3.(4)	(4)技術の継承	○	あり	強化	再任用を継続し、技術力の向上に努める
3.(5)	(5)水道施設の 跡地の活用	△	あり	強化	住民説明会を通じ、今後の方針を検討する
3.(6)	(6)保安設備の整備	○	なし	完了	機械警備・巡回監視を継続する
3.(7)	(7)お客様サービスの充実	○	なし	継続	町民との連携を推進する
4.(1)	(1)省エネルギーの推進 および自然エネルギーの利用	△	なし	変更し継続	設備更新時には高効率機器に入れ替える
4.(2)	(2)建設副産物の有効利用	○	なし	継続	引き続き浅層埋設を推進する
4.(3)	(3)有効率の維持	○	なし	強化	計画的に管路を更新し、有効率を維持する